

何でも読もう会

書物名	『蝸ノ記』	開催日	出席者
作者	葉室 麟	2025. 1. 20	2名
<p>時代小説は女性に人気がないのか、新年の行事や疲れの所為か出席者が極端に悪い状態だった。幸いコメントは届いていた。</p> <p><内 容></p> <ul style="list-style-type: none">・無実の罪で切腹せねばならない武士 戸田秋谷と彼の監視役を命ぜられた檀野庄三郎や戸田の家族の3年間を描いた作品。・戸田秋谷の思慮深い清廉な生き方と、権力者である家老の思惑、悪徳商人との癒着、百姓たちの窮乏等々を背景に描かれていく。 <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none">・作者 葉室麟の人物像や作品についての説明があった。・武士道や忠義といったテーマを軸に人間の尊厳や生きることの意味を問いかけている。・時代劇でありながら、現代にも通じる普遍的なテーマである。・側室を巡ってのお家騒動の始まりから、多方面の問題に広がり、興味深く一気に読めた。・ミステリー要素もあり、なぜ切腹を命じた人物に三浦家の家譜を調べさせたのか。また、お美代の方の「御由来書」を巡って、何が書かれ、どういう影響が出るのか。・なお、本作は第146回直木賞受賞作品			